

Q 数学の勉強って どんな役に立つの？



「一つの問題に
多様なアプローチが
あることを
教えてくれます」

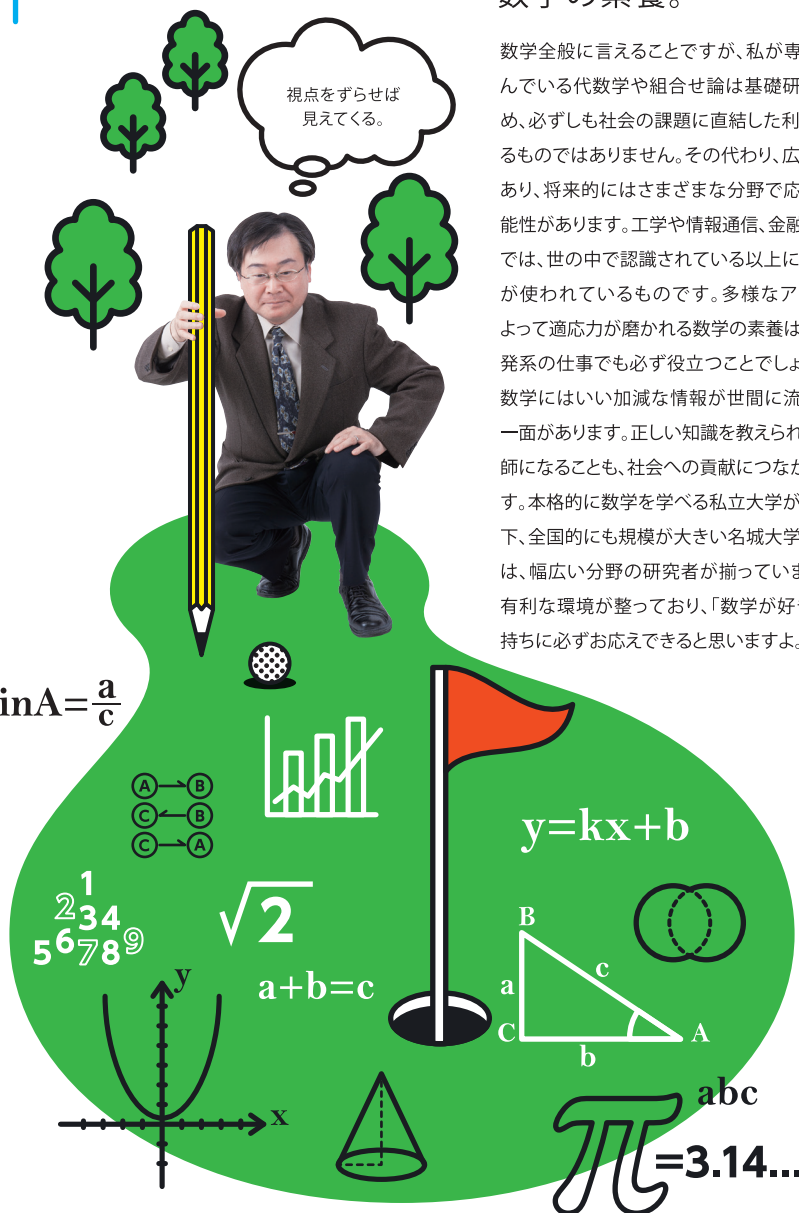
社会で必ず役立つ 数学の素養。

数学全般に言えることですが、私が専門に取り組んでいる代数学や組合せ論は基礎研究であるため、必ずしも社会の課題に直結した利用が見込めるものではありません。その代わり、広い汎用性があり、将来的にはさまざまな分野で応用される可能性があります。工学や情報通信、金融などの分野では、世の中で認識されている以上に高度な数学が使われているものです。多様なアプローチによって適応力が磨かれる数学の素養は、技術系・開発系の仕事でも必ず役立つことでしょう。一方で、数学にはいい加減な情報が世間に流通しやすい一面があります。正しい知識を教えられる数学の教師になることも、社会への貢献につながると思います。本格的に数学を学べる私立大学が少ない状況下、全国的にも規模が大きい名城大学の数学科には、幅広い分野の研究者が揃っています。学びに有利な環境が整っており、「数学が好き」という気持ちに必ずお応えできると思いますよ。

解ける方程式と 解けない方程式。

皆さんが中学・高校時代に数学の授業で解いてきた方程式の問題は、答を求められることが前提になっていたと思います。そうした方程式は、一つの答が導き出せるように調整されていると気づいていましたか。考えてみれば、当てずっぽうに問題を作ったら解けない方程式になってしまうことがわかりますね。このような解ける方程式と解けない方程式の違いに興味を持ち、その違いを解き明かすことも数学の一つの研究分野です。単に答を求めるのではなく、答を導き出せるのはなぜか理由を考える。日々発見の多い世界です。

$$\sin A = \frac{a}{c}$$



私の学生時代

赤くないレッドブック。
研究の基盤をつくりました。

学生時代の自主ゼミで勉強していた代数学幾何学の基礎理論のテキストです。その後の研究活動のベースとなりました。出版された当時は赤かったそうですが、再版を重ねて名前だけがレッドブックとして残っているところが面白いでしょう。



PROFILE

前野 俊昭 先生

実世界とは異なる数学の世界では、予測ができないところで色々な理論が繋がっていて驚かされると、その不思議に魅了されている前野先生。「当たり前だと思っていたことでも、よく考えてみれば、さまざまな発見があるものです」。

